

第6回専門分野別教育開発セミナー

「国際標準の大学教育 ー かに自分の専門を英語で教えるか」

主催：金沢大学大学教育開発・支援センター

共催：留学生センター、外国語教育研究センター、国際学類、国際交流本部

後援：大学コンソーシアム石川、

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）東海北陸支部

日時：平成21年11月21日（土）13時 ～ 17時10分

会場：金沢大学サテライトプラザ3階集会室

趣旨：政治、経済、理工学、医薬、環境など様々な分野でグローバル化が進み、厳しい国際競争下にある産業界も日本人学生と海外の学生を区別することなく質の高い人材を獲得しようとする動きの中で、大学教育の国際通用性を担保する英語で専門を教える授業は必須となってきた。大学院を中心に英語による授業は増加する傾向にあるが、国家戦略として「留学生30万人計画」が実施に移される中、今後は多くの大学で国際標準の英語による大学院教育を拡充させるとともに、学士課程教育における英語による授業の実施についても踏み込んでいく必要がでてくるであろう。

英語で教えることが大学教員の必須のスキルとなる時、かに英語で授業を行ったらよいのであろうか？ 英語での論文執筆や国際会議での発表に慣れている教員にとっても英語での授業は容易ではないであろう。留学生を対象としたクラス、日本人学生と留学生とが混在するクラス、いずれにおいても受講者間の英語力のばらつきは授業設計上の大きな問題となる。また、討論を組み込んだ授業の組み立ても課題である。

本セミナーでは、学内外より英語で教える授業を実践しておられる講師の方々から授業内容、方法についてご教示いただくとともに、教員の英語力以外の授業運営の部分について、すなわち英語による授業のFDの側面についても議論したい。

プログラム：

13時～13時10分 開会挨拶

長野 勇（金沢大学副学長）

青野 透（金沢大学大学教育開発・支援センター長）

13時10分～14時10分 基調講演「英語による授業のノウハウ共有」

中井 俊樹（名古屋大学高等教育研究センター准教授）

14時10分～14時20分 休憩

14時20分～15時50分 学内事例報告（3件）

「外国人教員から見た英語による授業運営」

Ertl John Josef（外国語教育研究センター准教授）

「環境をテーマとするジョイントクラスの実践報告」

結城 正美（外国語教育研究センター准教授）

「工学系大学院における英語による専門教育の実践報告」

中山 謙二（自然科学研究科教授）

15時50分～16時05分 休憩

16時05分～17時05分 ディスカッション

17時05分～17時10分 閉会挨拶

志村 恵（金沢大学留学生センター長）

申し込み方法について

電子メールまたはファックスにより、「セミナー申し込み」として、11月18日（水）までに、氏名（ふりがな）、所属、連絡先（電子メールアドレスまたは電話番号）を明記の上、下記連絡先までお申し込みください。参加費は無料です。

連絡先：金沢大学 大学教育開発・支援センター 西山宣昭

E-mail: nnishiya@ge.kanazawa-u.ac.jp FAX: 076-234-4172

FD研修修了証明書の発行について

平成20年度の大学設置基準によるFD法的義務化にともない、大学教育開発・支援センター主催のセミナー・シンポジウムでは、参加者のうち、希望される方には、FD研修修了証明書を発行させていただいております。ご希望の方は、当日お申込ください。

会場案内

金沢市西町3番丁16番地 金沢市西町教育研修館内 武蔵が辻バス停より徒歩5分

